

独立行政法人水産総合研究センター
平成23年度 契約監視委員会（第2回）議事概要

1. 日時 平成24年3月27日（火） 10:00～12:00
2. 場所 クイーンズタワーB棟7階D会議室（神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3）
3. 出席者

委員長 細井 和昭 公認会計士
委員 蒲池 孝一 公認会計士
委員 鈴木 満 弁護士
委員 並木 裕之 （株）神奈川新聞社 取締役経営管理局长
委員 朝比奈 清 （独）水産総合研究センター 監事
委員 杉田 賢一 （独）水産総合研究センター 監事
（独）水産総合研究センター事務局

4. 議題

- ①：契約監視委員会における審議について
②：契約実績一覧表について
③：入札等に関するアンケート調査の結果について
④：平成23年度第1～3四半期の契約点検結果について

5. 議事概要

・議題①契約監視委員会における審議について

平成23年9月2日付け総務省行政管理局長事務連絡「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて」に係る改善状況のフォローアップについて、「競争性のない随意契約の新規案件」「2年連続の一者応札・応募案件」を対象に審議していただく旨、事務局より説明。

・議題②契約実績一覧表について

平成23年度第1～3四半期に行われた契約件数・金額の実績等について、事務局より説明。

・議題③入札等に関するアンケート調査の結果について

平成23年度第1～3四半期実施のアンケート調査結果について、事務局より説明。

・議題④平成23年度第1～3四半期の契約点検結果について

競争性のない新規随意契約及び2カ年連続の一者応札・一者応募契約の取組結果について、事務局より説明の上、審議を行った。

委員の主な意見等	事務局の回答
議題③入札等に関するアンケート調査の結果 ・アンケートはいつ行ったのか、重複して	・4～12月まで入札案件毎に無記名により

<p>ないか。率直な意見を貰うため無記名として しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを、案件毎に行うことは有意義だが、無記名で率直な意見を貰う悉皆調査を行えばより有効と思われる。 <p>議題④平成23年度第1～3四半期の契約 点検結果について (新規の随意契約) 「さんま漁業用船」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随意契約となったことはやむを得ないが、当初の契約相手先が代船を準備できるかどうかも含め、相手方が契約を履行できるか事前によく確認すべきではなかったか。 <p>「まぐろ延縄漁業用船」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会に来た業者は何社か、また、実際に対象となる業者はどの位いるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・調査に必須の設備は入札要件にすべきものであり、そもそも総合評価方式になじまないのではないか。 ・不落随契は競争入札で落札しなかったものであり、特命随契と別個の観点から審査する必要があることに留意すべき。 <p>(一者応札・一者応募契約)</p>	<p>実施している。重複することはない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の契約相手先に震災被害の有無を確認したところ、操業可能とのことであったが、ドック(上架)検査の結果、舵軸損傷が新たに見つかり、操業許可期間前に修理を終えることができない事が判明したため、現契約相手先と随意契約せざるを得なかった。今後は事前の情報収集に努め、相手方の履行能力をより慎重に判断していく。 ・説明会に来たのは1社である。また、業者全体で200隻程度である。 現在は漁獲量が少ないため1航海が15ヶ月サイクルになり、当センターの12ヶ月サイクルに合わないことや、契約金額に魅力が無いことなどが理由と考えられ、説明会にもなかなか来てもらえない実態がある。 ・競争性のより高い方式を選択するとの方向で対応しており、価格だけでなく調査能力を総合的に判断する必要がある。
--	---

<p>「多項目水質計」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者からの見積書だけでは業者側に予算を決められてしまう恐れがあるので、他に同じ機器を使用している県水試、大学等からも契約金額などを聞き取り、より妥当な予定価格の設定に努めるべき。 ・この処は問題意識を持って頂きたい。 <p>「外国雑誌購読」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度3社が入札したのに、一者入札となったのは何故か。 <p>特殊な雑誌を除外する・他の業者に声かけを行う等、複数業者が入札するよう努力すべき。</p> <p>「会計システム運用支援業務」「電子複写機保守及び消耗品等の供給業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者入札となった状況は理解できるが、複数年契約を推進する等コストを引き下げる努力も必要ではないか。 ・センターの予算については国庫債務負担行為として複数年の契約は行うことができないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は他のユーザーからの聞き取り調査は実施していないが、価格形成がより適正となるよう検討を進めたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度入札に参加した他の2者が、入札に参加しなかった理由は、①昨年の落札金額を基に検討した結果、落札見込みがないため、②一部の誌代の確認がとれないため、との回答を得ている。また、本年度になって特殊な雑誌が含まれたということもない。 ・今後とも他の業者への声かけなど、複数業者が入札に応ずるよう努めていきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・複数年契約が可能な案件については既に実施しているが、更に改善できないか検討していきたい。 ・交付金を除くと国からの委託事業は単年度契約となっているので複数年契約はできない。
---	---

6. その他

今後の対応について

- ・審議案件のうち、2年連続の一者応札・一者応募の契約は、全件フォローアップ票を作成することになるが、契約監視委員会のコメントを記載する必要があるため、具体的な記載内容については、委員会審議を踏まえ委員長と調整することとなった。
- ・本委員会の開催頻度について、3ヶ月毎、年4回開催できないかとの要望を受け、今後の課題として検討していくこととなった。
- ・次回の委員会は23年度第4・四半期分を対象に7～8月頃開催することとなった。